

目標達成計画

作成日：平成 23 年 9 月9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	法人内で作成されたレジメを使って内部研修は行われているが、グループホーム独自の具体的な行為について研修し、拘束しないためにはどうすれば良いのかまでの話し合いが望まれる。	身体拘束の定義を学ぶ研修会を企画し開催する。自分達の介護を見つめ直し身体拘束をしていないかどうかを振り返る。	講師をまねいて年内に開催する。	6ヶ月
2	10	利用者の担当職員が責任感や問題意識を持って接し、気づきがケアに繋がるようモニタリングまで取り組むことで、より職員のスキルアップを期待します。	本人がその人らしく暮らせるように利用者様・ご家族様の要望を伺い、スタッフの意見交換・モニタリング・カンファレンスをおこなう。	職員一人一人が責任を持ち、日々利用者様に接することが出来るようにカンファレンスを行い、モニタリングまでおこなうことが出来るようにする。	12ヶ月
3	13	グループホーム独自のマニュアルを作成し職員が自信をもって誘導できるようあらゆる災害想定での自主訓練が望まれます。	介護施設における災害に対して職員がスムーズに誘導が出来るように訓練をおこなう。	災害対策に対して年2回、消防訓練を実施しているが、事業所独自の消防訓練を3ヶ月に1回、ローテーションで担当を決めてスムーズに動けるように訓練をおこなう。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。